

## 生育は「3～4日程度の遅れ」

### 1. 水稻の生育状況(あきたこまち)

「あきたこまち」の生育は先週までの低温や強風の影響のため、3～4日程度の遅れで推移し、すべての調査項目において平年を下回っております。茎数については3号分けつが確保された圃場とされなかった圃場で圃場間差が見られ、他品種においても同様の傾向となっております。先日の強風や還元状態等により停滞気味の圃場も見受けられますので、以下を参考に生育の回復に努めてください。

また、茎数過多の圃場については中干し前に一週間程度の深水管理による茎数抑制を図る等の管理に努めてください。

水稻定点調査圃の生育状況(6月16日) ※平年値は最高値と最低値を除いた過去10年の平均

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/㎡)		葉齢(葉)		SPAD	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
あきたこまち	27.0	30.4	171	189	6.6	7.1	36.7	40.9
(慣行)	26.7		105		6.3		34.4	
(側条ベスト等)	27.2		215		6.9		37.9	
前年比	92%		94%		-0.5 葉		91%	
平年比	89%		91%		-0.5 葉		90%	
たつこもち	31.4	32.7	148	217	7.1	7.2	28.8	40.1
きぬのはだ	28.7	32.8	142	231	7.0	7.5	30.0	38.9
ときめきもち	25.7	32.2	163	208	7.0	7.2	33.5	39.2
サキホコレ	28.5	26.8	285	153	7.6	6.7	39.2	41.6

### 2. 今後の技術対応

#### 1) 水 管 理

「上位葉の葉先の黄化」「発根が少ない」「葉が細い」などの還元障害の症状により、分けつの発生が少ない圃場では、晴天日に3日～4日程度落水してから水を入替え、茎数確保に努めてください。また、葉色を除いた生育量が極端に少ない圃場は、硫酸を10a当たりN成分量で1.0kg程度を目安に追肥を実施してください。

なお、順調に茎数が確保されている圃場については、葉齢9葉を目安に中干し・溝切りの準備を進めてください。

#### 2) 病虫害防除

##### ・イナゴ

例年に比べ発生量は少なめとなっております。今後、食害が目立つ場合には畦畔沿いにつぎの薬剤を散布し防除してください。

- ①「トレボン粉剤DL」2～3kg/10a      ②「トレボン乳剤」1,000～2,000倍

**※ 圃場での「ばか苗」は、見つけしだい抜取りをよろしく願います。**

「水稻技術情報」<https://www.ja-ogata.or.jp/farming2/>をホームページで閲覧の際は、これまで必要だったパスワード入力なしで閲覧可能になりました。

※水稻以外の技術情報は、これまで通りパスワードの入力が必要です。